

# WORLD THOROUGHBRED RANKINGS

The official listing of the world's best racehorses  
(covering the period 1<sup>st</sup> February to 5<sup>th</sup> August 2012)

グッドウッド競馬場でのサセックス S(G1)を楽勝し、無敗の連勝記録を 12 に延ばしたフランケル **【140】** が最新版ワールドサラブレッドランキングでトップの座を維持した。この勝利により、愛調教馬ロックオブジブラルタル **【128】** が 2001 年から 2002 年にかけて記録した G1 7 連勝に並んだ。

## WORLD'S LEADING HORSES

1st February - 5th August 2012

[click here for complete rankings](#)

Rank	Horse	Rating
1	<b>FRANKEL (GB)</b> Sir Henry Cecil - GB	140
2	<b>BLACK CAVIAR (AUS)</b> Peter Moody - AUS	130
3	<b>CIRRUS DES AIGLES (FR)</b> Corrine Barande-Barbe - FR	128
4	<b>I'LL HAVE ANOTHER (USA)</b> Doug O'Neill - USA	126
4	<b>MONTEROSSO (GB)</b> Mahmoud Al Zarooni - UAE	126
6	<b>BODEMEISTER (USA)</b> Bob Baffert - USA	125
6	<b>CITYSCAPE (GB)</b> Roger Charlton - GB	125
6	<b>EXCELEBRATION (IRE)</b> Aidan O'Brien - IRE	125
6	<b>HAY LIST (AUS)</b> J McNair - AUS	125
6	<b>NATHANIEL (GB)</b> John Gosden - GB	125
6	<b>ORFEVRE (JPN)</b> Y Ikee - JPN	125
6	<b>SO YOU THINK (NZ)</b> Aidan O'Brien	125

昨年 3 歳 10~12 ハロン部門でトップだった、ナサニエル【125】は7月初旬のエキリプス S(G1)ではファハー【122】に競り勝ち復帰緒戦を飾った。同馬はその後キングジョージ 6 世&クイーンエリザベス S(G1)では独調教馬デインドリーム【123】に接戦の末敗れている。そのデインドリームは、前述のキングジョージでは他にもセントニコラスアビー【124】、シームーン【123】、リライアブルマン【122】等の有力馬を降した。

欧州の 3 歳世代では、独調教馬パストリウス【123】がバイエルンツフトレネン(G1)を制し、この世代ではキャメロット【124】に次ぐ存在となった。また、イルーシヴケート【119】はドーヴィル競馬場でのロートシルト賞(G1)を逃げ切りで制し、欧州 3 歳牝馬マイル部門のトップとなった。欧州の古馬スプリント部門ではムーンライトクラウド【121】がモーリスドゲスト賞(G1)を 5 馬身差で完勝、同競走の連覇を果たすとともに、これまでで最高の評価を得た。

北米でも特筆すべき点はいくつもある。昨年の北米ダートスプリント部門トップタイのアマゾンビー【121】は今年になって更なる成長を遂げている。同馬はデルマー競馬場でのビングクロズビーS(G1)を制し、人工馬場への対応能力もあることを証明した。また、アクラメーション【123】はエディーリード S(G1)を制し同競走での連覇を達成した。また西海岸所属馬では、ペインター【119】がハスケル招待 S(G1)を制して、3 歳世代の中で名乗りを上げた。恒例のサラトガ開催におけるここまでのベストパフォーマンスは上がり馬フォートランド【121】によるもので、ホイットニー招待 H(G1)でロンザグreek【120】を降した。

南アフリカではワットアウインター【120】がマーキュリースプリント(G1)を制した。またシンガポールではニュージーランド産の 3 歳牝馬スーパーイージー【120】がパイティティゴールドカップ(星 G3)を 4 馬身差で制し、無敗の記録を更新し続けている。